



# 但馬水産技術センターだより



## 海況情報（K2103号）

令和3年4月12日  
兵庫県立農林水産技術総合センター  
但馬水産技術センター 発行

### 1. 日本海海況予報（2021年4月中旬～6月）

日本海における海況の予報をお知らせします。

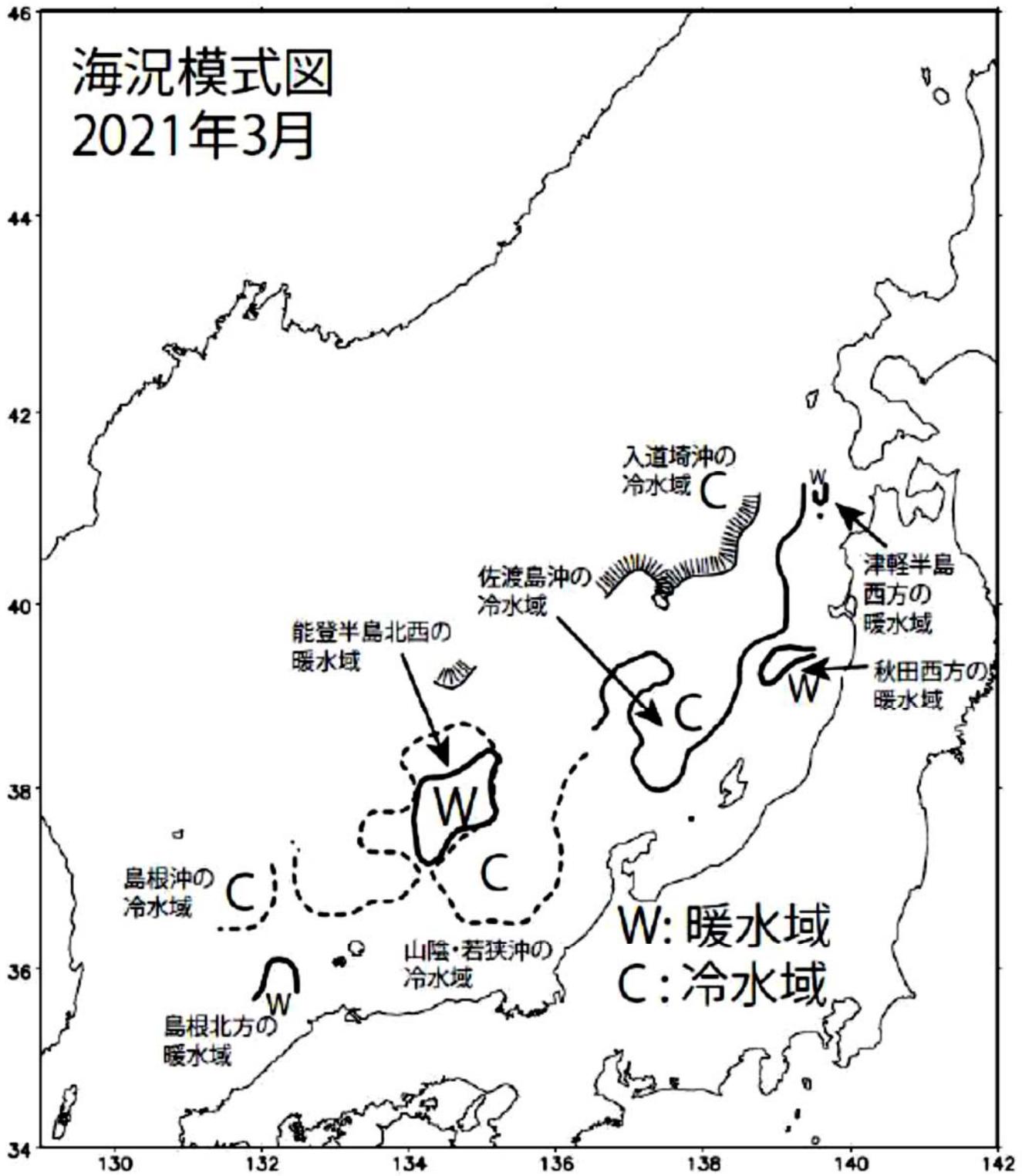
#### 資料1

- ・2021年度第1回日本海海況予報（国立研究開発法人水産研究・開発機構 水産資源研究所）＊観測データの出所は但馬水産技術センターほか各府県等。

（コメント：4月中旬～6月の見通し一部抜粋、別紙の「2021年3月の海況模式図」参照）

- ・島根北方の暖水域は北東に進み隠岐諸島北方に分布。
- ・能登半島北西の暖水域は北進し能登半島はるか北北西に分布。
- ・島根沖の冷水域の張り出しは、規模は「かなり小さく」接岸状況は「やや離岸」で経過。
- ・山陰・若狭沖の冷水域の張り出しは、規模接岸状況ともに「平年並み」で経過。
- ・対馬暖流域の表面水温は、「かなり高め」で経過。
- ・対馬暖流域の50m深水温は、日本海西部及び北部ともに「かなり高め」で経過。

お問い合わせ先：兵庫県但馬水産技術センター（鈴木）TEL：0796-36-0395 FAX：0796-36-3684  
email：nourinc\_tajima@pref.hyogo.lg.jp  
ホームページ：https://www.hyogo-suigi.jp/tajima/



2021年3月の海況模式図

出典：国立研究開発法人水産研究・開発機構  
<http://www.fra.affrc.go.jp/pressrelease/pr2021/index.html>

## 2021年度 第1回 日本海海況予報

### 1. 今後の見通し（2021年4月中旬～6月）

- (1) 島根北方の暖水域は北東に進み隠岐諸島北方に分布する。能登半島北西の暖水域は北進し能登半島はるか北北西に分布する。秋田西方の暖水域は北進し津軽海峡から流失する。津軽半島西方の暖水域は東進し津軽海峡から流失する。
- (2) 島根沖の冷水域の張り出しは、規模はかなり小さく、接岸状況はやや離岸で経過する。山陰・若狭沖の冷水域の張り出しは、規模接岸状況ともに平年並みで経過する。佐渡島沖の冷水域の張り出しは、規模はやや小さく、接岸状況はやや離岸で経過する。入道埼沖の冷水域の張り出しは、規模はやや小さく、接岸状況はやや離岸で経過する。
- (3) 対馬暖流域の表面水温は、“かなり高め”で経過する。
- (4) 対馬暖流域の50m深水温は、日本海西部及び北部ともに“かなり高め”で経過する。

### 2. 経過（2020年11月～2021年2月）

- (1) 11月に能登半島北西で見られた暖水域は2月まで定在。11月に男鹿半島沿岸～西方に見られた暖水域は、12月に津軽海峡から流失。11月に山形～秋田沿岸に出現した暖水域は、12月には欠測により確認出来ないが、2月には男鹿半島北西に分布。12月に能登半島東岸に出現した暖水域は北東に進み、2月には佐渡島北方に分布。
- (2) 島根沖の冷水域は、11月はかなり小さくはなはだ離岸、12月はやや小さくはなはだ離岸、2月は欠測により不明。山陰・若狭沖の冷水域は、11月はやや小さくはなはだ離岸、12月はやや小さくやや離岸、2月は規模、接岸距離とも平年並。佐渡島沖の冷水域は、11月はやや小さくやや離岸、12月はやや小さく接岸距離は平年並み、2月はやや小さくやや離岸。入道埼沖の冷水域は、11月はかなり小さくかなり離岸、12月は欠測により不明、2月はやや小さく接岸状況は平年並み。
- (3) 対馬暖流域の表面水温は、11月は、但馬北方～若狭北方～能登半島西方、上越～佐渡島、男鹿半島西方で“かなり高め”、佐渡島北東で“かなり高め”～“はなはだ高め”、隠岐諸島北方で“やや低め”～“かなり低め”。12月は、山口北方、隠岐諸島はるか北方、北海道道西方で“かなり高め”～“はなはだ高め”、津軽半島西方で“かなり高め”。2月は、山口北方、隠岐諸島西方で“かなり高め”～“はなはだ高め”、能登半島北西で“かなり低め”～“はなはだ低め”。
- (4) 対馬暖流域の50m深水温は、日本海西部では“はなはだ高め”、北部では“かなり高め”。

### 3. 現況（2021年3月）

- (1) 暖水域は、島根北方、能登半島北西、秋田西方、津軽半島西方に分布。
- (2) 島根沖の冷水域は、かなり小さくはなはだ離岸。山陰・若狭沖の冷水域は、規模、接岸距離とも平年並。佐渡沖の冷水域は、やや小さくはやや離岸。入道埼沖の冷水域は、やや小さくかなり離岸。
- (3) 対馬暖流域の表面水温は、島根～但馬沿岸、隠岐諸島北方、佐渡島北方で“かなり高め”～“はなはだ高め”、若狭湾北方、能登半島西方、能登半島東岸で“かなり高め”、能登半島はるか西方で“かなり低め”～“はなはだ低め”。
- (4) 対馬暖流域の50m深水温は、日本海西部では“かなり高め”、北部では“やや高め”。

(註) 引用符(“ ”)で囲んで表した、平年比較の水温の高低の程度は以下のとおり

- |              |                               |
|--------------|-------------------------------|
| “はなはだ高め(低め)” | : 22年以上に1回の出現確率である2℃程度の高さ(低さ) |
| “かなり高め(低め)”  | : 7年に1回の出現確率である1.5℃程度の高さ(低さ)  |
| “やや高め(低め)”   | : 3年に1回の出現確率である1℃程度の高さ(低さ)    |
| “平年並み”       | : 2年に1回の出現確率で、平年値±0.5℃程度の水温   |

出典：国立研究開発法人水産研究・開発機構

<http://www.fra.affrc.go.jp/pressrelease/pr2021/index.html>